

サトイモ科

ヒロハテンナンショウ

Arisaema ovale Nakai

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

■ 県内分布

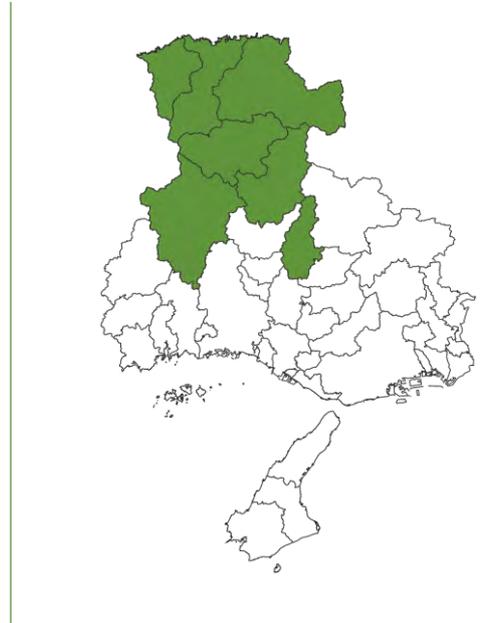
多可町、宍粟市、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町

■ 国内分布

北海道、本州(福井県以西の日本海側)、九州(北部)

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

-

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

山地の林下、おもにブナ林に生え、高さは15-55cmになる。球茎は径1-3.5cmで、多数の子球をつける。偽茎は葉柄とほぼ同長、花柄の出口では襟状に波形のひだがある。葉は1(-2)個で、5-7枚の小葉をつける。小葉は狭卵形、楕円形、卵形、ときに倒卵形で、鋭頭または鋭尖頭。花序は花時に葉よりも下につく。花期は5-6月。仏炎苞は黄緑色から緑色で、光沢があり、隆起する白糸がある。付属体は黄緑色から緑色、棒状あるいはときに先がやや頭状。